

自治会運営の心がけ

(1)	幅広い会員の参加への工夫	自治会活動には、その地域に住む人たちの総意が常に反映されなければなりません。そのためには、さまざまな創意工夫、また、情報提供の努力が求められます。
(2)	自由でのびのびとした雰囲気づくり	自治会活動を進める上で、何よりも民主性が求められます。メンバー一人ひとりが十分話し合い、お互いが個性を認め合い、理解し合って活動をすすめられるような場の設定や雰囲気づくりに心がける必要があります。 ＜好ましくない発言＞ － 会議中 － ・繰り返し発言または言い方を変えただけで同じ内容の発言 ・欠点の指摘だけで、改善提案のない発言 ・攻撃的発言 ・さえぎる発言 ・自己主張発言 ・相手の揚げ足をとる発言 ・反論のための反論 このほか、会議の開始時期や終了時間などをあらかじめ決めて会議を進行していくことが大切となります。
(3)	個性を生かした役割分担	活動をすすめる上で、メンバー一人ひとりの個性をできるだけ生かし、伸ばしてあげられるような役割分担の配慮をすることが必要です。
(4)	プライバシーへの配慮	住民生活に密着した活動を行っている自治会は、会員のプライバシーを知りうる機会が多いといえます。一方、自治会への参加の阻害要因として一番大きなものは「プライバシーの侵害」であることもわかっています。 プライバシー問題は、その地域における住民同士の関係や自治会への信頼度・信頼関係の上にあるものという認識を持つことが重要です。 少なくとも、知り得た情報を目的外に使うことや、必要以上に吹聴して回るようなことはあってはならないことです。
(5)	自治会役員のころがけ	自治会役員一同は、「自治会は会員みんなのもの」との認識を常にもちながら、近隣の助け合いと思いやりの心を育み、地域の安全と安心を自主的に支えるために、より豊かで、充実した生活を送ることができるよう、積極的・自発的に地域の課題に取り組んでいきます。 地域の課題実現のためには、「オール貝島」の協力が欠かせません。 会員お一人お一人のつながりを大切にしていきたいと思えます